

H25. 9. 7

18種類の多剤投薬



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内
 科入局。平成7年、尼崎市で「長
 尾クリニック」を開業。外来診療
 から在宅医療まで「人を診る、総
 合診療を目指す。医学博士。近著
 「平穏死・10の条件」「胃ろうと
 いう選択、しない選択」はいずれ
 もベストセラー。関西国際大学客
 員教授。55歳。

病院から出た計18種類の薬を飲んでる90歳の患者さんが先日、風邪をひいたといっ
 て来られました。「どうして
 18種類も飲むことになったの
 ?」といきざつを聞いていま
 した。

もともと高血圧、糖尿病、
 腰痛の持病があり、近所のか
 かりつけ医に通院していまし
 た。しかし、5年前に心筋梗
 塞を患い、総合病院に1カ月



ポリファーマシーになる理由

入院。心臓カテーテル検査と
 ステント治療を受け、その
 後、その病院の循環器科、神
 経内科、整形外科の3つの科
 に通院しているそうです。

血圧の薬が3種類、糖尿病
 の薬が2種類、胃薬と消化
 剤、便秘薬2種類、血液サラ
 サラの薬、コレステロールの

科、神経内科、整形外科の3
 つの科を1日で回るのは無理
 なので2回に分けて通院され
 ています。「病院での待ち時
 間が長く、疲れたので点滴を
 してほしい」とせがまされま
 した。とくに2つの科を回った
 日は、家に帰った途端、バタ
 リンキューだそうす。よくあ
 る話ですが、本人は深刻に今

「薬を全部やめたら元気
 になった」という笑い話をよ
 く聞きます。私自身も何度か
 経験しました。多くの人は
 「一度はやめてみたい」と思
 いながら、病院でもらった薬
 を一生懸命、全部飲むとし
 ます。

薬、尿酸の薬、腰の痛み止め
 2種類、骨の薬、睡眠薬、そ
 してなぜか認知症とパーキン
 ソン病の薬が処方されていま
 した。

合計すると18種類。循環器
 科、神経内科、整形外科の3
 つの科を1日で回るのは無理
 なので2回に分けて通院され
 ています。「病院での待ち時
 間が長く、疲れたので点滴を
 してほしい」とせがまされま
 した。とくに2つの科を回った
 日は、家に帰った途端、バタ
 リンキューだそうす。よくあ
 る話ですが、本人は深刻に今
 ポリファーマシーにはさま
 れておられます。

後のことを悩んでいました。
 それにしても90歳の高齢者
 が、なぜ18種類もの薬を飲ま
 ないといけないのか? 5、
 6種類を超える多剤投薬。
 英語では「ポリファーマシ
 ー」と呼ばれます。このポリ
 ファーマシーは結構深刻な問
 題をはらんでいます。

薬には当然、副作用や飲み
 合わせがあります。それぞれ
 の薬同士はもちろん、食物と
 の食べ合わせもあります。薬
 でしょ。

さまざまな背景があります。まず
 総合病院はいくつもの専門科
 に分かれており、それぞれ予
 約を取り、受診をします。さ
 らに専門科はそれぞれの診療
 ガイドラインを守った診療を
 心がけています。たぐさんの
 専門医にかかるほど薬が増え
 るのは、現代医療においては
 自明の理。総合病院は臓器別
 縦割りの診療体制ですから、
 多剤になるのは仕方がないの
 ましょう。

ひよこ